

# 南区福祉教育だより

第1号

南区内の小中学校では、地域住民の方々と協力して様々な福祉的取り組みが行われており、ふれあいの場が設けられています。今回の『南区福祉教育だより』では、今年度各中学校で行われた取り組みをご紹介します。

## 札幌市立石山中学校

(前田敏文 校長 生徒数 250名)

本校では毎年2年生が職場体験学習に取り組んでいます。ご協力を頂いている事業所様の中には福祉関係も複数含まれています。生徒は事前学習で石山地区の少子高齢化などについて学び、当日は職員の方々のご指導を受けて一生懸命に仕事の体験をしました。その後、事後学習をメンバー全員で協力して進め、2月29日には事業所の皆様と保護者の方々にご来校いただき、「職場体験学習発表会」を行いました。(写真は介護老人保健施設「アートヒルズ」さんです)



## 札幌市立簾舞中学校

(橋詰博 校長 生徒数 144名)

7月16日(火)の午後、本校体育館で「簾舞地区サマーコンサート」を開催しました。簾舞在住のソプラノ歌手藤本明日香さんらに出演していただきました。「簾舞まちづくり協議会 歴史・文化部会」が主催しました。本校生徒、簾舞小学校6年生をはじめ、保護者、そしてたくさんの地域のお年寄りの皆さんに鑑賞していただきました。初夏のさわやかな天気の日にとってもステキなコンサートを実施することができました。

## 札幌市立常盤中学校

(若松尚代 校長 生徒数 258名)

平成27年11月8日 札幌芸術の森アートホールにて、『第20回芸術の森地区音楽祭(人と自然に優しい文化推進の里)』が開催されました。平成8年から始まり、今年で20回目を迎えました。第5回からアートホールを使用して行われ、今年も前日の準備とで90名を越える地域の方々の協力がありました。

当日は悪天候ながら、小中学校の保護者だけでなく、地域の方々から1000名を越える多数の入場があり、来賓には南区長をはじめとする、多数のご来場がありました。

常盤中学校の合唱をはじめ、常盤中学校吹奏楽部の演奏、常盤小のバンド演奏や、石山東小の合唱、駒岡小の器楽演奏などや、地域の方による和楽器、ジャズ、合唱、吹奏楽、そしてピアノ独奏など、多岐にわたる内容となりました。最後に会場にいる全員で「ふるさと」を歌って終了しました。



毎月3日は見守り・訪問の日

## 札幌市立藤野中学校

(前田寿嗣 校長 生徒数 390名)

平成27年12月12日、藤野中学校において、「藤野地区鑑賞会」が行われました。藤野地区とその近隣で活動する6つのスクールバンドや音楽団体が集い、自慢の音色を響かせました。地域では毎年恒例の行事となっており、この日を楽しみにしている人も多くいます。お孫さんの演奏に目を細めて聴き入っているおじいちゃん・おばあちゃんの姿もありました。最後は藤野中学校吹奏楽部の伴奏で「ふるさと」を合唱し、若者から高齢者までがともに、地域への思いを新たにしました。



## 札幌市立定山溪中学校

(阿部時彦 校長 生徒数 17名)

本校のブラスバンド部は、毎年、地域の病院と老人介護施設に出演しています。

9月5日(土)には溪仁会定山溪病院の病院祭に今年も出演しました。「笑点」のオープニングテーマを皮切りに、鉄腕アトム、大きな古時計など計6曲を演奏し、患者さんたちから好評を博しました。

また、9月25日(金)には学校近くの老人介護施設「ごきげん定山溪」でも敬老コンサートをを行い、こちらも大好評でした。



## 札幌市立真駒内中学校

(大石まり 校長 生徒数 412名)

いつも地域に見守られ、育てられている私たち真駒内中学校では、その感謝と恩返しのお気持ちを込めて、毎年「全校ボランティア活動」を実施しています。

今年度も春～初夏には「花植えボランティア」と「草取りボランティア」を、冬には「砂まきボランティア」を行い、吹奏楽部の地域行事参加と合わせて、安心・安全・笑顔のまちづくりにちょっぴり参加することができました。



南区社会福祉協議会では福祉教育啓発の一環として、平成26年度より札幌市社会福祉協議会の見守り訪問活動イメージキャラクター「まもりん」と指文字表を掲載したクリアファイルを区内の中学校2年生の皆さんに配布しています。

このクリアファイルをきっかけに、「見守り・訪問活動ってなに?」、「指文字って面白いね!」など、福祉について、より興味・関心を持っていただけたらと願っています。

